

# 専門研修のご案内(9~12月)

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です。少人数でアットホームな雰囲気でき、職員同士が顔見知りになれる機会です。今後のネットワークづくりにも役立ちます。

※令和3年1~3月にも研修を予定しております。

	研修名	日時	講師	定員
①	～発達障がい者支援の基本～ A、会場で受講 B、ネット配信で受講	A、9月12日(土) 14:00~17:00	新井 豊吉 氏	A、25名 (申込順)
		B、9月28日(月) ~10月4日(日)		B、制限なし
②	障がい者支援施設スタッフのための ～移動・移乗の技術研修～	10月9日(金) 16:30~18:30	野原 健吾 氏 伊貝 まゆみ 氏	20名 (申込順)
③	障がい者・高齢者の虐待防止研修 ～福祉職員のダークサイドに ついて考える～	10月27日(火) 17:30~20:00	結城 俊哉 氏	25名 (申込順)
④	福祉職員のための ～記録の書き方研修～ (オンライン研修)	12月2日(水) 13:30~15:30	保正 友子 氏	30名 (申込順)
⑤	～発達が気になる子どもの 理解と対応～	12月4日(金) 10:00~12:30	山中 裕子 氏	25名 (申込順)

◆参加費◆

無料

◆対象◆

調布市内在住・在勤の福祉職員

◆場所◆

調布市こころの健康支援センター本館2階活動室AB

◆申込◆

メール・FAXにて受付(別紙申込書)

◆申込期間◆

7/20(月)~各研修開始1週間前まで

～発達障がい者支援の基本～		○講義
A、会場で受講 B、ネット配信で受講 [9/28(月)～10/4(日)]		
①	<p>「利用者の意思をなかなかみ取れない」「利用者スムーズに作業に入ってもらうことが難しい」といった支援者の悩みは、発達障がい者支援の基本的な理解によって、解消されるかもしれません。</p> <p>本研修では、長年特別支援教育の学校現場で教員として働き、現在は大学院で後進を育成している新井豊吉先生をお招きし、発達障がい者支援の基本を学びます。発達障がい者支援の基本を理解することで施設や事業所での虐待防止にも繋がる内容ですので、ぜひご参加ください。会場で受講される方は新井先生に直接質問することができます。</p>	<p>新井 豊吉 氏 (福井大学大学院 連合教職開発研 究科准教授)</p>

※Bに関して：事前にお申込みいただいた方に、研修開催以降に期間限定でネット配信を致します。

YouTube 動画を視聴できる端末およびインターネット環境が必要です。配信映像は事前にお申込みいただいた皆様への限定公開となります。配信URLの転送や転載はくれぐれもお控えください。

障がい者支援施設スタッフのための ～移動・移乗の技術研修～		○講義 ○演習
②	<p>「ベッドや車いすへの移乗対応に自信がない」「スタッフによって介助方法が違う」「慣れない介助で体を痛めてしまった」こんな悩みを抱えたことはありませんか？</p> <p>障がいのある方の通所施設や入所施設では、利用者の高齢化が進み、歩行が不安定な方や車いすを利用している方への対応が求められるようになってきています。</p> <p>そこで、本研修ではデイセンターまなびやで重度の身体障がいのある方の介助をしてきた野原健吾氏と伊貝まゆみ氏をお招きし、車いすを使用したり、実際の援助場面をできるだけ再現して移動・移乗の技術を演習形式で学びます。</p> <p>安心して安全な支援が提供できるようになる研修ですので、ぜひご参加ください。</p>	<p>野原 健吾 氏 伊貝 まゆみ 氏 (デイセンター まなびや職員)</p>

※②の研修について：講義内容を実践的なものにするために、普段の支援状況の情報提供をお願いして

います。受講決定者にご案内させていただきますので、可能な場合はご協力の程宜しくお願い致します。

～福祉職員のダークサイドについて考える～		○講義 ○グループワーク
③	<p>日本では近年まで、「旧優生保護法」の下、障がい者に強制不妊手術を受けさせるという国家的な人権侵害が行われてきました。2016年に「障害者差別解消法」が施行されてからも施設内での障がい者、高齢者に対する虐待事件は起こり続けています。相模原市の障がい者施設「やまゆり園」で元職員が入所者19名を殺害し、職員を含め26名に重傷を負わせた悪夢のような事件はまだ記憶に新しいのではないでしょうか。</p> <p>本研修では、これまで「虐待予防」や「ケアの本質・実践とは何か」について考え、自らも悩み続けながら現場の福祉職を応援している立教大学の結城俊哉先生をお招きし、援助職(ケアの担い手)により虐待問題と優生思想について考えます。利用者との援助関係において生じる「怒りや悲しみ、恐れや不安」など様々な否定的感情にさらされる援助職のこころの闇(ダークサイド)から虐待や差別を捉える研修です。特に、福祉現場の援助職として「こころの健康」を保ちながら働き続けるうえで役立つ内容となっています。</p>	<p>結城 俊哉 氏 (立教大学 コミュニティ 福祉学部教授)</p>

④	<p style="text-align: center;">福祉職員のための ～記録の書き方研修～ (オンライン開催)</p>	<p>○講義 ○グループワーク</p>
	<p>社会福祉援助の現場では、より良い支援を実践していくために記録の作成が不可欠です。簡潔で、わかりやすい記録を作成することは、サービスの質の向上はもちろん、業務の短縮にもつながります。</p> <p>本研修では、医療ソーシャルワーカーとして記録業務に従事した経験があり、現在は日本福祉大学の教授としてソーシャルワーカーの成長を応援している保正友子先生にご講義いただきます。日ごろの自分の記録を見つめ直すとともに、社会福祉援助における記録の目的や意義、適切な記録を作成するためのポイント等の基本的な知識・技術の習得を目指します。「記録の書き方がわからない」「記録に時間がかかる」などでお悩みの方はぜひご参加ください。</p>	<p style="text-align: center;">保正 友子 氏 (日本福祉大学 社会福祉学部教授)</p>

※④の研修について：WEB会議システム「ZOOM」を使用するオンライン開催となります。

カメラ付パソコン若しくはタブレット端末からの参加をお願いします。

参加方法に関しては、参加決定者に別途ご案内させていただきます。

※事前課題があります。



⑤	<p style="text-align: center;">～発達が気になる子どもの理解と対応～</p>	<p>○講義</p>
	<p>「どうしてこの子はパニックを起こしたのだろう」「自傷行為を防ぐにはどうしたらいいの」など子どもを日々支援する中で、思い悩むことはありませんか。</p> <p>本研修では、長年重症心身障がい者施設で心理判定員として活躍し、現在はカウンセリングステーション・ユエで子どもの発育や子育てについての相談を受けている山中先生を講師にお迎えします。</p> <p>発達に関する基本的な知識を抑えたいうえで、子どもの気になる行動の背景をどう見立て、支援につなげていくかについて学びます。</p> <p>子どもの発達を理解することは虐待の予防にもつながります。放課後等デイサービスや学童クラブ、保育園の職員におすすめの研修です。</p>	<p style="text-align: center;">山中 裕子 氏 (カウンセリング ステーションユエ)</p>



## ～受講生の感想～

①答えがない支援において、その人に応じた支援を考えることがとても大切だと感じました

②実践的な話や方法を体験する事ができたのでよかったです。

③支援中における自分の感情コントロールの仕方を実践していきたいと思います。

④普段何気なく書いている記録でも、グループワーク形式で学ぶことにより、新たに発見することがありました。

⑤専門的すぎず、わかりやすかったです。これまで考えていたことを違う視点で見ることができるようになりました。

参加者の皆さまが安心して受講できるように、換気の徹底、消毒などの感染防止対策を講じて研修を実施いたします。

また、新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、本研修を延期または中止とさせていただきます。その際は人材HPにてご案内させていただきます。また、お申込みされた方にはご連絡いたします。



調布市福祉人材育成センター

### 【問い合わせ先】

#### 調布市福祉人材育成センター

(こころの健康支援センター内)

(月～金 9:00～17:00)

TEL: 042-452-8180

FAX: 042-444-3376

メール: jinzai@ccsw.or.jp

ホームページ

<http://jinzai.chofu-city.jp/>



◎京王線「調布駅」下車 中央口をでて南側より徒歩12分

◎京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩8分